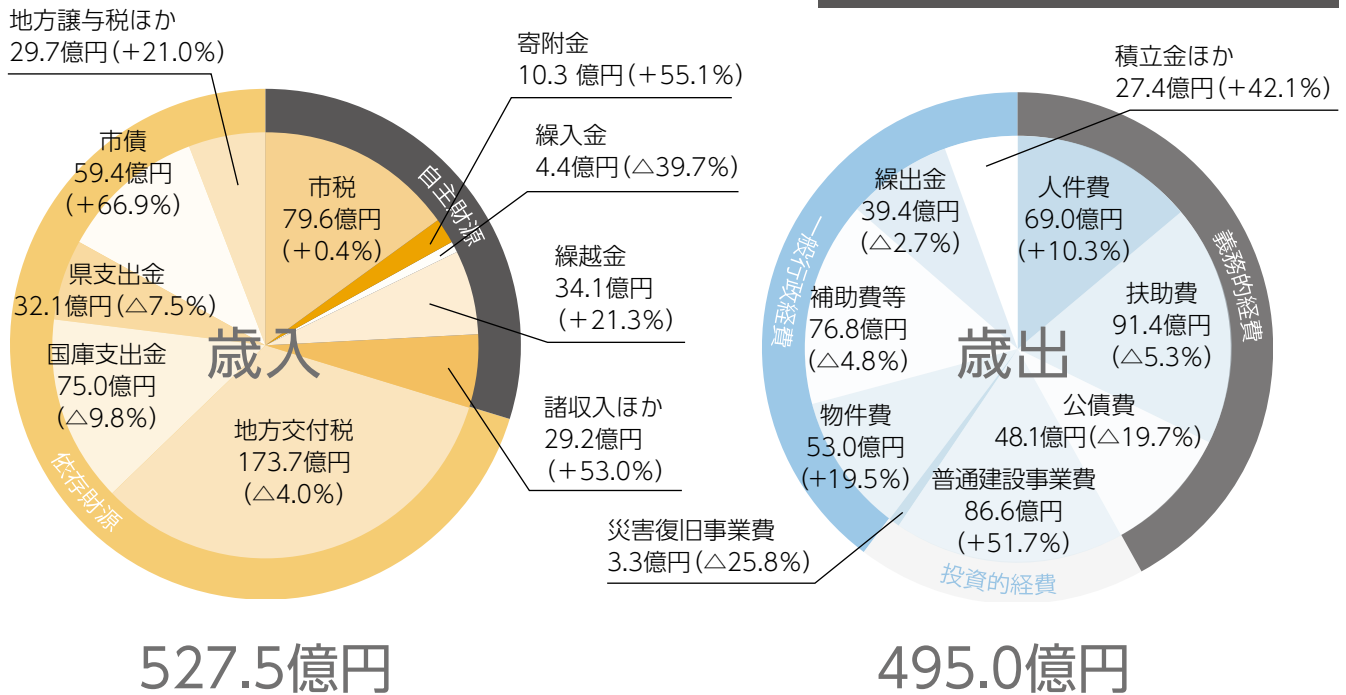




令和6年度の決算状況をお知らせします。

令和6年度 宇和島市の財政状況



市税などの自主財源は157.6億円 (前年比+12.2%)、地方交付税や国庫支出金などの依存財源は369.9億円 (前年比+3.1%) となり、全体としては527.5億円 (前年比+5.6%) となっています。

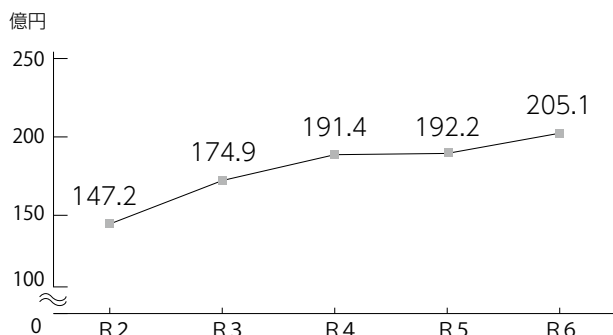
人件費や公債費などの義務的経費が208.5億円 (前年比△4.8%)、投資的経費が89.9億円 (前年比+46.1%)、物件費や補助費などの一般行政経費は196.6億円 (前年比+6.4%) となり、全体としては495.0億円 (前年比+6.4%) となっています。

- ▶ 歳入と歳出の差額は32.5億円となり、黒字となっています。このうち、翌年度に繰越して執行する事業に必要な財源は7.9億円 (前年比△30.7%) となり、実質収支額は24.6億円です。
- ▶ 前年度は、新型コロナウイルス感染症、物価高騰対策に13.5億円、平成30年7月豪雨災害の経費に2.8億円を使用しました。

■市の貯金 (積立基金残高)

市はさまざまな目的のために資金を積み立てています。

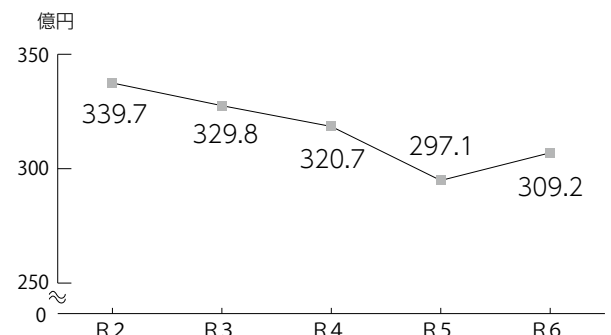
205.1億円 (+12.9億円)



■市の借金 (市債残高)

市が大きな事業をするために必要な財源で、多世代で利用する施設などを公平に負担する役割もあります。

309.2億円 (+12.1億円)



■各会計決算額

(単位：百万円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差引額
一般会計	53,268	50,017	3,251
特別会計			
国民健康保険 (事業勘定)	9,234	8,747	487
国民健康保険 (直営診療施設勘定)	176	176	0
後期高齢者医療	2,557	2,497	60
介護保険 (保険事業勘定)	10,571	10,193	378
介護保険 (介護サービス事業勘定)	51	51	0
財産区管理会	18	17	1
土地取得事業	137	137	0

※用語解説など詳しくは市ホームページで確認できます。

■財政健全化に関する指標

健全化判断比率と資金不足比率は、決算の内容が良い状態なのか、将来に不安はないのかなどを判断する指標であり、比率が低いほど自由度の高い財政運営であるとされています。

また基準を超えた場合は、財政健全化計画などを作成し、改善が義務付けられます。市の比率は次のとおりで早期健全化、財政再生の基準を超えるものではありません。

(単位：%)

比率区分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6 早期 健全化基準	財政再生 基準
実質赤字	—	—	—	—	—	12.04	20.00
連結実質赤字	—	—	—	—	—	17.04	30.00
実質公債費	3.7	4.1	5.3	6.2	5.6	25.00	35.00
将来負担	—	—	—	—	—	350.0	

【資金不足比率】公営企業ごとに資金不足額をその企業の事業規模で割った比率です(経営健全化基準20.0%)。公営企業会計(水道事業会計ほか3事業会計)について、資金不足はありません。

主な事業

通常事業



▶ デジタル推進事業



▶ 吉田統合小学校整備事業



▶ 住吉公民館改築事業



▶ こども支援施設整備事業

コロナ・物価高騰関連



▶ ワクチン接種事業



▶ 地域とつながる商品券事業



病院事業

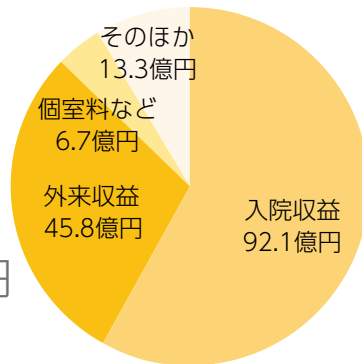
深刻な看護師不足もあり一部病床の休止などの非常に厳しい経営環境や、物価高騰により3病院ともに赤字となりました。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入

157.9億円

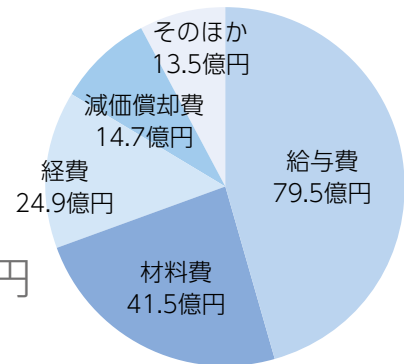
(△1.5%)



支出

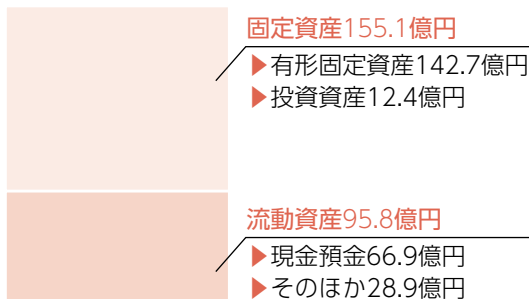
174.1億円

(+2.5%)

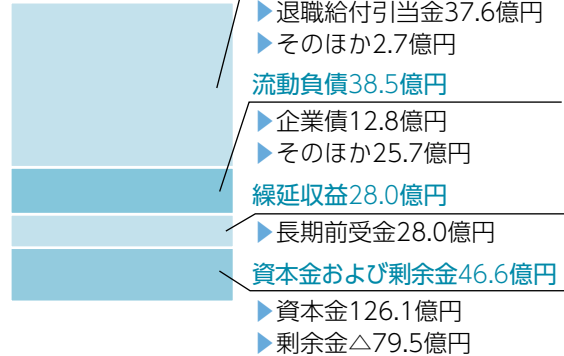


貸借対照表

資産の部



負債・資本の部



介護老人保健施設事業

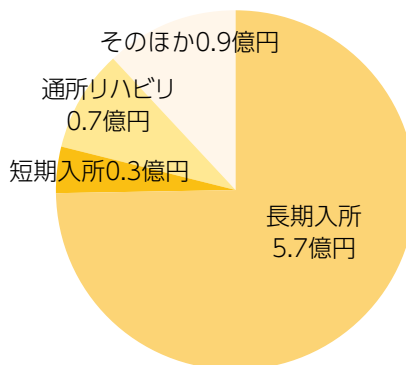
老健は経営改善を図っていますが慢性的な赤字体質を解消できず、一般会計からの繰り入れを受けています。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入

7.6億円

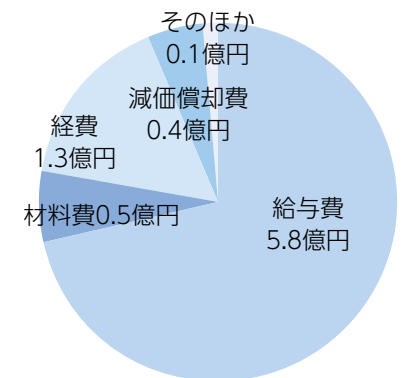
(+2.4%)



支出

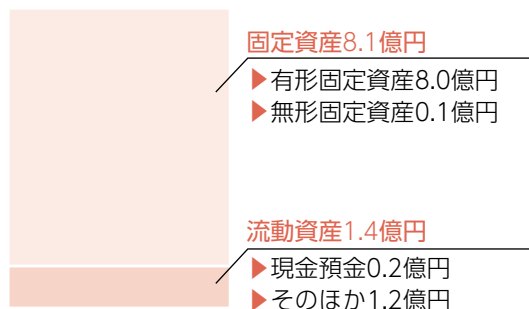
8.1億円

(+5.7%)

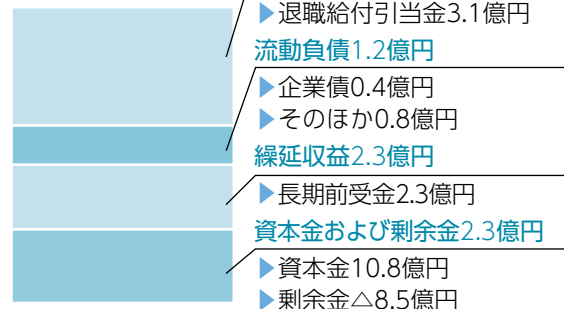


貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

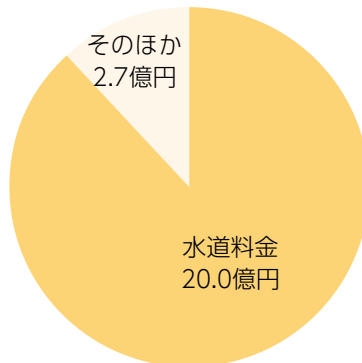


水道事業

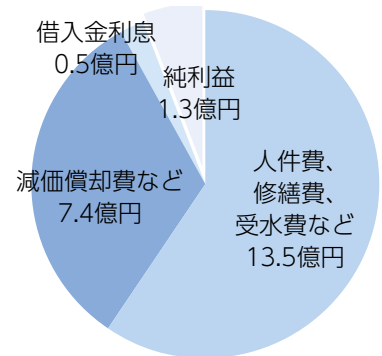
給水人口の減少により収入が減少しました。減価償却費や修繕費などが増加する一方で人件費などが減少したことにより支出も減少しました。その結果、純利益は前年度と比較して1億288万円の減少となりました。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入
22.7億円
(△9.1%)

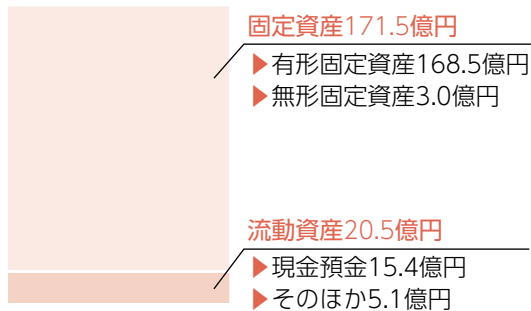


支出
21.4億円
(△5.5%)

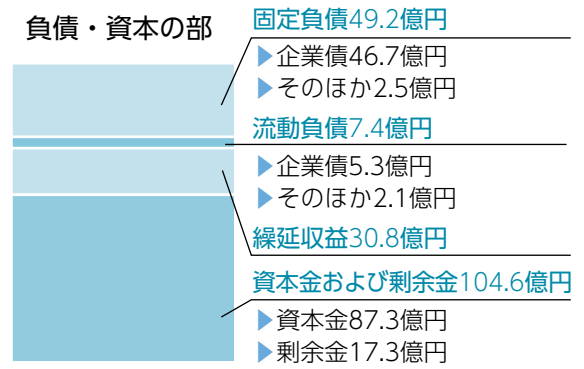


貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

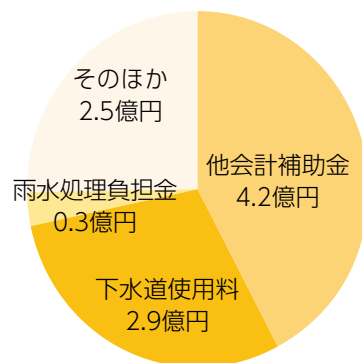


下水道事業

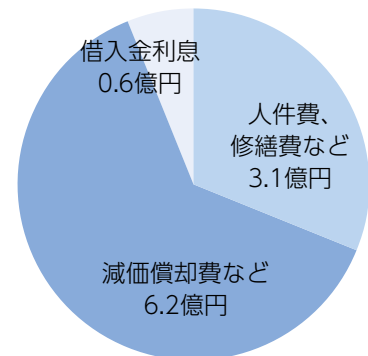
公共下水道事業と小規模下水道事業を統合しました。より一層経営状況を注視し、計画的な事業運営に努めます。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入
9.9億円
(+9.4%)



支出
9.9億円
(+9.4%)



貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

